

令和5年度 高等部1年（Ⅱ課程A）国語科年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等		担当者名	
80		なし			
目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等					
年間目標		(知及技) 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができる。（中１） (思判表力)順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができる。（中１） (学・人)言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。（中１）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技) 友達とのやり取りを通して、言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くことができる。 (思判表力)友達の話を聞き、話の大体を捉えることができる。 (学・人)言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 友達に伝えるように、内容を意識して自己紹介を行おうとしている。 (思・判・表)友達の自己紹介を聞いて、大体の内容を理解して人柄を捉えようとしている。 (主学)友達の自己紹介を聞いて、人柄を捉え自ら進んで質問しようとしている。	・自己紹介をしよう	「自己紹介をしよう」 ・ワークシートに沿って記入し、その内容を発表する。 ・友達の自己紹介をきちんと聞き、他に知りたいことがあれば質問する。
	6	(知及技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることを理解することができる。 (思判表力)語や語句の意味を基に内容の大体を捉えることができる。 (学・人)言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 物の名称を種類によってグループ分けしようとしている。 (思・判・表)語や語句の意味を基に内容の大体を捉えようとしている。 (主学)聞いたことのない物の名称は質問するなど進んでグループ分けしようとしている。	・物の名称を知ろう	「物の名称を知ろう」 ・羅列された物の名称を、花、動物、お菓子、野菜の４つのグループに分ける。 ・グループ分けした物の名称について発表する。
	3	(知及技) 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。 (思判表力)語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えることができる。 (学・人)言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 同義語や対義語、上位語・下位語、経験したことの中から語句を探そうとしている。 (思・判・表)語や語句の意味の大体を捉えようとしている。 (主学)知っている言葉の中からつながりのある言葉を探そうとしている。	・ことばをつなげよう (イメージマップ)	「ことばをつなげよう」 ・「高校生」「梅雨」「ゴールデンウィーク」から連想できる言葉を発表する。
	3	(知及技) 言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付くことができる。 (思判表力)相手に伝えるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 (学・人)言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 言葉で二枚の絵の違いを説明することで、言葉の働きに気付こうとしている。 (思判表力)相手に伝えるように構成を考えようとしている。 (主学)二枚の絵の違う箇所を根気強く探そうとしている。	・間違いを探して説明しよう	「間違いを探して説明しよう」 ・２枚の絵を見比べて違う箇所を探し、文章で説明する。
	2	(知及技) 主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解することができる。 (思判表力)相手に伝えるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 (学・人)言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 主語と述語の適切な係り受けを理解するとともに、前後の文節や文などをつなぐ働きをもつ語句の役割を理解しようとしている。 (思・判・表)文章の始めから終わりまでを、内容のまとまりごとに、幾つかに分けて配置していくことを意識しようとしている。 (主学)体験して感じたことを相手にわかりやすく伝えようとしている。	・新入生歓迎会を終えて	「新入生歓迎会を終えて」 ・感想文を書く。
	6	(知及技) 普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。 (思判表力)相手や目的に応じた話し方で話すことができる。 (学・人)言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 敬体と常体に気をつけながら丁寧な言葉を使おうとしている。 (思・判・表)状況に応じた話し方で話そうとしている。お礼の気持ちが伝わるようなお礼状を書こうとしている。 (主学)手紙を書く際には、お礼の気持ちが伝わるように意識して手紙を書こうとしている。	・あいさつや場に応じた言葉遣い ・お礼の手紙を書こう	「あいさつや場に応じた言葉遣い」 ・就業体験場所での挨拶や言葉遣いを学習する。 「お礼の手紙を書こう」 ・相手、時候等に合った表現を用いてお礼状を書く。
	4	(知及技) 普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。 (思判表力)文の構成、語句の使い方に気を付けて書くこと。 (学・人)言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 敬体と常体に気をつけながら丁寧な言葉を使おうとしている。 (思・判・表)前後の語句のつながりを大切にし、一文の意味が明確になるように語と語の続き方を考えようとしている。 (主学)手紙を書く際に、送り先の相手を意識して気持ちが伝わるように手紙を書こうとしている。	・暑中見舞いのはがきを書こう	「暑中見舞いのはがきを書こう」 ・相手、時候等に合った表現を用いて暑中見舞いのはがきを書く。
	3	(知及技) 主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解することができる。 (思判表力)相手に伝えるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 (学・人)言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 主語と述語の適切な係り受けを理解するとともに、前後の文節や文などをつなぐ働きをもつ語句の役割を理解しようとしている。 (思・判・表)文章の始めから終わりまでを、内容のまとまりごとに、幾つかに分けて配置していくことを意識しようとしている。 (主学)体験して感じたことを相手にわかりやすく伝えようとしている。	・夏休みの思い出	「夏休みの思い出」 ・夏休みを振り返り、思い出を100～200字程度で書く。

2 学 期	9	(知及技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。 (学・人) 言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 文章を正しく捉えようとしたり内容の時間的な順序に気を付けながら情報を整理しようとしている。 (思・判・表) 物語の展開に即して場面の様子が変化したり、中心となる登場人物の行動や心情が変化したりしていくことを把握し、その様子を豊かに想像しながら読むとしている。 (主学) 情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することを楽しもうとしている。	・文章を読んで考えよう	「文章を読んで考えよう」 ・小4程度の文章を読む。 ・わからない言葉を調べる。 ・内容についての問題を解く。
	6	(知及技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。 (学・人) 言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 文章を正しく捉えようとしたり内容の時間的な順序に気を付けながら情報を整理しようとしている。 (思・判・表) 物語の展開に即して場面の様子が変化したり、中心となる登場人物の行動や心情が変化したりしていくことを把握し、その様子を豊かに想像しながら読むとしている。 (主学) 情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することを楽しもうとしている。	・本に親しもう ・読書感想文を書こう	「本に親しもう」「読書感想文を書こう」 ・図書室で好きな本を借りる。 ・感想文を書く。 ・発表する。
	6	(知及技) 普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。 (思判表力) 相手や目的に応じた話し方で話することができる。 (学・人) 言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 敬体と常体に気を付けながら丁寧な言葉を使おうとしている。 (思・判・表) 状況に応じた話し方で話そうとしている。お礼の気持ちが伝わるようなお礼状を書こうとしている。 (主学) 手紙を書く際には、お礼の気持ちが伝わるように意識して手紙を書こうとしている。	・あいさつや場に応じた言葉遣い ・お礼の手紙を書こう	「あいさつや場に応じた言葉遣い」 ・就業体験場所での挨拶や言葉遣いを学習する。 「お礼の手紙を書こう」 ・相手、時候等に合った表現を用いてお礼状を書く。
	4	(知及技) 挨拶状などに書かれた語句や文を読んだり書いたりし、季節に応じた表現があることを知ることをすることができる。 (思判表力) 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 (学・人) 言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 時候の挨拶で用いる語句のように季節によって使い分ける語句があることや、その使い方を知らうとしている。 (思・判・表) 文章には、始め一中一終わりなどの構成があることを意識しようとしている。 (主学) 招待状を受け取る人が来くなるような書き方の工夫をしようとしている。	・招待状を書こう～運動会に向けて～	「招待状を書こう」 ・相手、時候等に合った表現を用いて招待状を書く。 ・見どころのアピールや、がんばりたいことなど自分なりの目標を書く。
	6	(知及技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力) 文章を読んで分かったことを伝えたり、感想をもったりすることができる。 (学・人) 言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 見聞きした事柄を相手に分かりやすく伝えるために、内容の時間的な順序に気を付けながら情報を整理しようとしている。 (思・判・表) 読んだ文章の内容について相手に伝えるために、読み取った内容が適切か自分で再考するとともに、印象に残ったフレーズ等を選んだり、文章全体の印象や文章の内容に対する思いを自分なりの言葉で表現したりしようとしている。 (主学) 調べたことを整理して考えたり気持ちなどを共有するために伝え合ったりしようとしている。	・好きなことを調べよう	「好きなことを調べよう」 ・調べ学習と発表
3 学 期	4	(知及技) 普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。 (思判表力) 文の構成、語句の使い方に気を付けて書くこと。 (学・人) 言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 敬体と常体に気を付けながら丁寧な言葉を使おうとしている。 (思・判・表) 前後の語句のつながりを大切にし、一文の意味が明確になるように語と語の続き方を考えようとしている。 (主学) 手紙を書く際に、送り先の相手を意識して気持ちが伝わるように手紙を書こうとしている。	・年賀状を書こう	「年賀状を書こう」 ・相手、時候等に合った表現を用いて書く。
	3	(知及技) 姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと。 (思判表力) 自分が書いた文字を見返し、間違いを直すこと。 (学・人) 言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 書いた文字を自分や周りの人が読むことができるように、文字の形を整えて書こうとしている。 (思・判・表) 自分が書いた文字を見返し、間違いを正そうとしている。 (主学) 自分の選んだ文字とその理由について、相手と共有するために伝え合おうとしている。	・新年の抱負	「新年の抱負」 ・漢字一文字で書く。
	1	(知及技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。 (学・人) 言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 言葉の響きやリズムを楽しむ文化があることを知り、我が国の言語文化を理解しようとしている。 (思・判・表) 場面の様子が変化したり、中心となる登場人物の行動や心情が変化したりしていくことを把握し、その様子を豊かに想像しながら読むとしている。 (主学)	・正月遊びを楽しもう	「正月遊びを楽しもう」 ・カルタ遊びを行う。
3 学 期	9	(知及技) 事柄の順序など、情報と情報との関係について理解することができる。 (思判表力) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することができる。 (学・人) 言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 文章を正しく捉えようとしたり内容の時間的な順序に気を付けながら情報を整理しようとしている。 (思・判・表) 物語の展開に即して場面の様子が変化したり、中心となる登場人物の行動や心情が変化したりしていくことを把握し、その様子を豊かに想像しながら読むとしている。 (主学) 情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像することを楽しもうとしている。	・文章を読んで考えよう	「文章を読んで考えよう」 ・小4程度の文章を読む。 ・わからない言葉を調べる。 ・内容についての問題を解く。

	3	(知及技) 普通の言葉との違いに気を付けて、丁寧な言葉を使うことができる。 (思判表力) 相手や目的に応じた話し方で話すことができる。 (学・人) 言葉が持つよさに気付くとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとすることができる。	(知・技) 敬体と常体に気をつけながら丁寧な言葉を使おうとしている。 (思・判・表) お礼の気持ちが伝わるように、文章の構成を考えようとしている。 (主学) 手紙を書く際には、お礼の気持ちが伝わるように意識して手紙を書こうとしている。	・お礼の手紙を書こう	「お礼の手紙を書こう」 ・手紙の書き方を学び、学校生活や自己を振り返ってお世話になった方へ感謝の気持ちを言葉にする。
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 高等部 1年（Ⅱ課程A） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
78		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)社会生活に必要な知識や技能を身に付けるとともに、基本的な社会のしくみを理解することができる。 (思判表力)社会的事象に関心をもち、自分の生活に関連付けて具体的に考えたことを表現することができる。 (学・人)社会生活の中で状況を的確に判断し自分の役割と責任について考え、主体的に生きる地域社会の一員としての自覚を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) 社会のしくみと制度を理解することができる。 (思判表力) 社会生活ときまりとの関連を考え、表現することができる。 (学・人) 個人と社会の関係を理解し、主体的に地域社会の一員として生きていこうとする態度を養う。	(知・技) 社会には様々なきまりがあることを理解している。 (思・判・表) グループ活動を通して社会と自分の生活の関連を考え、表現している。 (主学) 自分の住んでいる地域社会の特徴を知り、その場所でのどのような生活をしていくのかを意識しようとしている。	①私たちの暮らしと社会 【道徳：遵法精神・公德心】 ・現代社会と私たち ・国や社会のきまり ・平和学習 ・国や社会のしくみ ・私たちの暮らしを支える社会のしくみ	①「私たちの暮らしと社会」 ・日本国憲法・国民の義務・国会・地方自治・税金・社会保障などについて基本的な内容を学習し、得られた知識を活用して自分の将来の生活とどうかかわってくるかを考える。
	13	(知及技) 学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 選挙のしくみがわかり、自分で投票することができる。 (学・人) 個人と社会の関係を理解し、主体的に地域社会の一員として生きていこうとする態度を養う。	(知・技) 学級や学校の中で、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりするなど、集団生活の中での役割を果たすための知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 選挙のしくみがわかり、自分で投票することができる。 (主学) 社会に自ら関わろうとする意欲をもち、地域社会の中で生活することの大切さに気づき、取り組もうとしている。	②18歳選挙権と日本の選挙制度 【道徳：社会参画・公共の精神】 ・政治とは何か ・平和学習 ・選挙制度について	②「18歳選挙権と日本の選挙制度」 ・ワークショップを通して政治とは何かを考える。 ・自分が投票できる選挙とその立候補者についてインターネット等で調べる。
2 学期	16	(知及技) それぞれの公共機関の役割を理解することができる。 (思判表力) 公共施設や公共物について調べ、それらの役割を考え、表現することができる。 (学・人) 個人と社会の関係を理解し、主体的に地域社会の一員として生きていこうとする態度を養う。	(知・技) 公共施設の役割や社会の制度と自分との関わりを理解している。 (思・判・表) 公共施設や社会の制度について、自分がどのように利用するか考え、表現している。 (主学) 自分の生活において公共施設や社会の制度を必要に応じ積極的に利用しようとしている。	①私たちの暮らしと公共施設・公共の交通機関 【道徳：社会参画・公共の精神】 ・公共の交通機関	①「私たちの暮らしと公共施設・公共の交通機関」 ・行きたい場所までのバスやタクシーの使い方、時刻表や料金表の見方を学習する。
	16	(知及技) 身近な公共施設や公共物の役割を理解することができる。 (思判表力) 身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現できる。 (学・人) 個人と社会の関係を理解し、主体的に地域社会の一員として生きていこうとする態度を養う。	(知・技) 身近な公共施設や公共物の役割を分かろうとしている。 (思・判・表) 身近な生活に関する制度について調べ、自分との関わりを考え、表現しようとしている。 (主学) 地域社会の中で生活することの大切さに気づき、取り組もうとしている。	②私たちの暮らしと公共施設・金融機関（銀行）や郵便局の利用 【道徳：社会参画・公共の精神・自主・自立・自由と責任】 ・役所でできる手続き ・警察、消防の働き ・病院や保健所の役割 ・専門店、デパート、劇場、博物館などの利用 ・職業や生活の相談と支援	②「公共施設の仕組み・使い方」 ・役所、銀行、警察、消防等の役割を学習し、得られた知識を活用して自分の将来の生活とどうかかわってくるかを考える。
3 学期	20	(知及技) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを理解することができる。 (思判表力) 仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考え、表現できる。 (学・人) 個人と社会の関係を理解し、主体的に地域社会の一員として生きていこうとする態度を養う。	(知・技) 生産の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることを分かろうとしている。 (思・判・表) 仕事の種類や工程などに着目して、生産に携わっている人々の仕事の様子を捉え、地域の人々の生活との関連を考えて表現している。 (主学) 地域社会の中で生活することの大切さに気づき、取り組もうとしている。	①現代の経済社会と私たちの生活 【道徳：勤労、節度・節制】 ・経済活動とは何か ・モノの生産、流通、消費 ・産業分類と職業分類 ・消費者主権教育	①「現代の経済社会と私たちの生活」 ・経済活動を支えている生産、流通、消費の流れを学習する。 ・経済活動を支えている様々な職業について学び、自分の将来の職業生活について考える。 ・消費生活に関する基本的な事項を学習し、得られた知識を活用して自分の将来の生活について考える。

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

令和 5年度 高等部 1 年（Ⅱ課程A） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
80	なし	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、事象を数理的に処理する技能を身につけるようにする。(中学部段階) (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。(中学部段階) (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。(中学部段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) 4位数までの数の表し方及び数の大小や順序について理解できる。10倍、100倍、 $1/10$ の大きさの数及びその表し方について知ることができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活で生かすことができる。 (学・人)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 4位数までの数の表し方及び数の大小や順序について理解している。10倍、100倍、 $1/10$ の大きさの数及びその表し方について知っている。 (思・判・表)数のまとまりに着目し、考察する範囲を広げながら数の大きさの比べ方や数え方を考え、日常生活に生かしている。 (主学)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用している。	数と計算 ・大きい数 ・小さい数	【生活に身近な数字を読み取ろう】 ・生活に必要な家賃や光熱費、家電製品等の金額の大きな数を読み取る。 ・金額を比べ、お得に買えるものを選択する。 ・体温計や身体測定結果から、小数の仕組みを知り、小数を読み取る。
	9	(知及技) 3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方について理解し、計算ができる。またそれらの筆算についての仕方を知ることができる。1位数と1位数との乗法の計算ができ、それを適切に用いることができる。除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすることができる。 (思判表力)数の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かすことができる。 (学・人)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 3位数や4位数の加法及び減法の計算の仕方について理解し、計算している。またそれらの筆算についての仕方を知っている。1位数と1位数との乗法の計算をし、それを適切に用いている。除法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりしている。 (思・判・表)数の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質や計算の仕方を見いだすとともに、日常生活で生かしている。 (主学)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用している。	数と計算 ・筆算 ・かけ算とわり算	【買い物にいろいろ①】 ・(加法) 買い物するときに必要な合計金額の計算からをする。 ・(減法) 支払い時に必要なおつりの計算をする。 ・(乗法) 複数個のものを複数人に買う際に必要な個数について計算する。 ・(除法) 複数個あるものを同じ数ずつに分ける計算をする。
	14	(知及技) 数を計算機を使って、具体的な生活場面における加法及び減法の計算ができる。簡単な場合についてある二つの数量の関係と別の数量の関係を比べる場合に割合を用いることができる。 (思判表力)数のまとまりに着目し、数の表し方の適用範囲を広げ、日常生活に生かすことができる。 (学・人)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 数を計算機を使って、具体的な生活場面における加法及び減法の計算をしている。簡単な場合についてある二つの数量の関係と別の数量の関係を比べる場合に割合を用いている。 (思・判・表)数のまとまりに着目し、数の表し方の適用範囲を広げ、日常生活に生かしている。 (主学)数量に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用している。	数と計算 ・おおよその数 ・お金の計算 ・買い物をしよう ・割引	【買い物にいろいろ②】 ・買い物をする際の「おおよその金額」を使って支払いをする練習を行う。 ・持っているお金と合計金額から、支払う額を考える。 ・「〇%引き」「〇割引き」や「半額」と言う表示に対して実際の金額を計算する。(計算機の活用) ・買い物学習(校外学習)などを通して、実際に買い物をする場面で、予算を考えたり、表示された金額の支払いをする。(必要に応じて計算機を利用する) ・行事等と関連付ける。
	7	(知及技) 長さの単位について知り、測定の意味を理解することができる。長さについて、おおよその見当を付け、単位を選択したり、計器を用いて測定したりすることができる。 (思判表力)身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりすることができる。 (学・人)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 長さの単位について知り、測定の意味を理解している。長さについて、おおよその見当を付け、単位を選択したり、計器を用いて測定したりしている。 (思・判・表)身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりしている。 (主学)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用している。	長さと重さ、量 ・長さの単位 ・長さの計測と計算	【身の回りを測ってみよう①】 ・長さの単位について学習する。 ・自分の身の回り(服や足のサイズ)を測り、長さの単位について知る。 ・普段使っている教室や、廊下の長さ等を測り、長さの単位や大きさについて考える。
9	(知及技) 重さの単位、かさの単位について知り、測定の意味を理解することができる。重さ及びかさについて、おおよその見当を付け、単位を選択したり、計器を用いて測定したりすることができる。 (思判表力)身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりすることができる。 (学・人)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 重さの単位、かさの単位について知り、測定の意味を理解している。重さ及びかさについて、おおよその見当を付け、単位を選択したり、計器を用いて測定したりしている。 (思・判・表)身の回りのものの特徴に着目し、目的に適した単位で量の大きさを表現したり、比べたりしている。 (主学)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用している。	長さと重さ、量 ・重さの単位と計測 ・重さの計算	【身の回りを測ってみよう②】 ・重さを表す単位について学習する。 ・ペットボトルや牛乳パック、水筒など入れ物いっぱいに入るかさを測り、かさの単位について考える。 ・測りや計量カップ、計量スプーンを使って料理で使う分量について考える。	

2 学 期	12	(知及技) データを分類及び整理し、表や棒グラフ、折れ線グラフで表したり、読み取ったりすることができる。表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその用い方を理解することができる。 (思判表力)身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら、読み取ったり、考察したり、結論を表現したりすることができる。 (学・人)データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) データを分類及び整理し、表や棒グラフ、折れ線グラフで表したり、読み取ったりしている。表や棒グラフ、折れ線グラフの意味やその用い方を理解している。 (思・判・表)身の回りの事象に関するデータを整理する観点に着目し、表や棒グラフを用いながら、読み取ったり、考察したり、結論を表現したりしている。 (主学)データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用している。	表とグラフ ・表とグラフの読み方 ・表とグラフの利用	・降水量や平均気温、アンケート結果などの表やグラフから、表やグラフの見方や特徴を考える。 ・自分で考えたアンケートを取って、表やグラフで表し、特徴やわかったことなどを発表する。
	12	(知及技) 時間の単位について知ることができる。日常生活に必要な時刻や時間をもとめることができる。 (思判表力)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすことができる。 (学・人)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 時間の単位について知っている。日常生活に必要な時刻や時間をもとめている。 (思・判・表)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かしている。 (主学)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用している。	時刻と時間 ・時刻の読み方 ・時間の経過	・時間や時刻の色々な表し方について考える。 ・1日の学校生活や時間割から時刻を読む。 ・出発時刻、到着時刻等から時間の経過について計算する。
3 学 期	7	(知及技) データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表で表したり、読んだりすることができる。 (思判表力)目的に応じてデータを集め分類及び整理し、データの特徴や傾向を見付けて適切に表現したり、考察したりすることができる。 (学・人)データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) データを日時や場所などの観点から分類及び整理し、表で表したり、読んだりしている。 (思・判・表)目的に応じてデータを集め分類及び整理し、データの特徴や傾向を見付けて適切に表現したり、考察したりしている。 (主学)データの活用に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさを理解し、そのことを生活や学習に活用している。	暦、時刻表 ・カレンダーの読み方 ・年齢について ・年に関すること	・月の行事予定カレンダーを読み取る。 ・学校の予定や自分の予定をカレンダーに整理し、月の予定について考える。 ・自分の年齢や家族の年齢、生まれた年や成人する年について学習する。 ・オリンピック、パラリンピックやワールドカップ等自分の興味のある大会について年について調べる。
	7	(知及技) 日常生活に必要な時刻や時間をもとめることができる。 (思判表力)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすことができる。 (学・人)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	(知・技) 日常生活に必要な時刻や時間をもとめている。 (思・判・表)時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かしている。 (主学)数量や図形に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、数学で学んだことのよさに気づき、そのことを生活や学習に活用している。	予定を立てる ・外出時に必要な計算 ・公共交通機関の利用 ・通勤時間や働く時間	・学校の日と休日の自分の予定を立て、自分の行動を逆算して外出時に必要な時間の計算をする。 ・時刻表を見方を学習する。 ・通勤時間の計算や、効率よく仕事を進めるための時間の使い方について考える。
留意点 引継ぎ等		・行事や各教科と関連づけて学習内容を設定する。(販売学習・修学旅行・校外学習など) ・参考資料「くらしに役立つ数学」「ひとりだちするための算数・数学」「ひとりだちするための算数・数学ワーク」			

令和5年度 高等部 1年（Ⅱ課程A）理科 年間指導計画

配当時数	教科書／副教材等	担当者
78	くらしに役立つ理科（東洋館出版社）	

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）（特別支援学校 高等部学習指導要領解説より） ・自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。 （思・判・表）（特別支援学校 高等部学習指導要領解説より） ・観察、実験などを行い、解決方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を身につけることができる。 （学・人）（特別支援学校 高等部学習指導要領解説より） ・自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を身につけることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名 ★関連項目	単元・題材の活動内容
1 学期	10	（知・技）人の体における各器官や器官系の働きについて理解することができる。 （思・判・表）感覚器官の実験を行い、脳との連携について見いだしたことを表現することができる。学・人） ・自分の体のつくりや運動について調べ、人の体のつくりや働きについて考えることができる。	（知・技）人の体における各器官や器官系の働きについて理解している。 （思・判・表）感覚器官の実験を行い、脳との連携について見いだしたことを表現している。 （主・学）自分の体のつくりや運動について調べ、人の体のつくりや働きについて考えている。	1章 健康なくらし 1. 人体とけが・病気の予防 （1）人の体の主なつくりや働き ★高等部2段階（A）生命	・養分を取り入れる ・酸素を取り入れる ・血液を全身に送り出す ・不要物を体の外へ出す ・情報を受け取る ・覚えたり考えたりする ・体を動かす ・体の働きを調整する
	3	（知・技）主な病気の原因や症状を理解することができる。 （思・判・表）病気の予防法について考えたことを表現することができる。 （学・人）自分の生活を振り返り、病気を予防するためにはどうしたらいいのかを考えることができる。	（知・技）主な病気の原因や症状を理解している。 （思・判・表）病気の予防法について考えたことを表現している。 （主・学）自分の生活を振り返り、病気を予防するためにはどうしたらいいのかを考えている。	（2）病気とその予防 ★高等部2段階（A）生命	・体を守る仕組み ・様々な病気 ・病気の予防
	3	（知・技）けがの処置や予防法を理解することができる。 （思・判・表）けがの正しい処置を実践することができる。 （学・人）様々なけがとその処置について考え、日々の生活に生かそうとすることができる。	（知・技）けがの処置や予防法を理解している。 （思・判・表）けがの正しい処置を実践している。 （主・学）様々なけがとその処置について考え、日々の生活に生かそうとしている。	（3）けがとその処置 ★高等部2段階（A）生命	・様々なけが ・応急処置の方法
	3	（知・技）各栄養素の働きについて理解することができる。 （思・判・表）栄養バランスのよい食事について考えたことを表現することができる。 （学・人）自分の食事を振り返り、健康的な食事について考えることができる。	（知・技）各栄養素の働きについて理解している。 （思・判・表）栄養バランスのよい食事について考えたことを表現している。 （主・学）自分の食事を振り返り、健康的な食事について考えている。	2. 食事と健康 （1）食品の栄養素 ★高等部2段階（A）生命	・五大栄養素 ・食べ物と栄養素
	3	（知・技）食品の腐敗の原因を理解することができる。 （思・判・表）食品の保存方法や食品表示の読み取り方を知り、様々な食品の正しい保存方法を選択することができる。 （学・人）食品の取り扱いについて考え、日々の生活に生かそうとすることができる。	（知・技）食品の腐敗の原因を理解している。 （思・判・表）食品の保存方法や食品表示の読み取り方を知り、様々な食品の正しい保存方法を選択している。 （主・学）食品の取り扱いについて考え、日々の生活に生かそうとしている。	（2）食品がくさる・いたむとは？ ★高等部2段階（A）生命	・食品が「くさる」、「いたむ」 ・食品の保存方法 ・食品表示とは
	5	（知・技）植物のつくりと働きについて理解することができる。 （思・判・表）植物の観察や栽培を通して感じたことを表現することができる。 （学・人）植物と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。	（知・技）植物のつくりと働きについて理解している。 （思・判・表）植物の観察や栽培を通して感じたことを表現している。 （主・学）植物と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。	第2章 自然とくらし 1. 生物 （1）植物 ★高等部1段階（A）生命	・植物を観察 ・植物の種類と特徴 ・植物の栽培 ・植物との関わり
	4	（知・技）動物の種類と特徴について理解することができる。 （思・判・表）動物の観察を通して感じたことを表現することができる。 （学・人）動物と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。	（知・技）動物の種類と特徴について理解している。 （思・判・表）動物の観察を通して感じたことを表現している。 （主・学）動物と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。	（2）動物 ★高等部1段階（A）生命	・動物の種類と特徴 ・動物の観察 ・動物との関わり
	3	（知・技）微生物の働きについて理解することができる。 （思・判・表）微生物の観察を通して感じたことを表現することができる。 （学・人）微生物と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。	（知・技）微生物の働きについて理解している。 （思・判・表）微生物の観察を通して感じたことを表現している。 （主・学）微生物と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。	（3）微生物 ★高等部1段階（A）生命	・微生物と私たちのくらし ・微生物の観察
	3	（知・技）食物連鎖について理解することができる。 （思・判・表）身近な食べ物の元を辿り、行き着く生物の特徴について表現することができる。 （学・人）生物の繋がりについて学んだことを生活に生かそうとすることができる。	（知・技）食物連鎖について理解している。 （思・判・表）身近な食べ物の元を辿り、行き着く生物の特徴について表現している。 （主・学）生物の繋がりについて学んだことを生活に生かそうとしている。	（4）生物と食物連鎖 ★高等部2段階（A）生命	・「食う・食われる」の関係
	6	（知・技）天体の動きについて理解することができる。 （思・判・表）天体の観察を通して感じたことを表現することができる。 （学・人）地球の自転・公転と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。	（知・技）天体の動きについて理解している。 （思・判・表）天体の観察を通して感じたことを表現している。 （主・学）地球の自転・公転と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。	2. 地球と自然 （1）地球と天体 ★高等部2段階（B）地球・自然	・地球の様子を知ろう ・大気と海 ・月の見え方と動き ・太陽の動き ・星の動き

2 学 期	3	(知及技) 様々な環境問題やその影響を理解することができる。 (思判表力) 環境の保全について考えたことを表現することができる。 (学・人) 様々な環境問題と環境の保全について考え、日々の生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 様々な環境問題やその影響を理解している。 (思・判・表) 環境の保全について考えたことを表現している。 (主学) 様々な環境問題と環境の保全について考え、日々の生活に生かそうとしている。	(2) 地球の環境 ★高等部2段階 (B) 地球・自然	・様々な環境問題 ・環境の保全について
	4	(知及技) 気圧の変化や前線の通過によって天気を変化することを理解することができる。 (思判表力) 天気図から読み取れることを表現することができる。 (学・人) 季節によって発達する気団について考え、日々の生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 気圧の変化や前線の通過によって天気を変化することを理解している。 (思・判・表) 天気図から読み取れることを表現している。 (主学) 季節によって発達する気団について考え、日々の生活に生かそうとしている。	(3) 気象 ★高等部1段階 (B) 地球・自然	・天気と日常生活 ・季節による気象の変化と特徴
	4	(知及技) 自然災害の起こり方やその影響について理解することができる。 (思判表力) 自然災害から身を守る方法について考えたことを表現することができる。 (学・人) 自然災害が起こった時にどうしたらいいのかについて考え、日々の生活に生かそうとすることができる。	(知・技) 自然災害の起こり方やその影響について理解している。 (思・判・表) 自然災害から身を守る方法について考えたことを表現している。 (主学) 自然災害が起こった時にどうしたらいいのかについて考え、日々の生活に生かそうとしている。	(4) 自然災害 ★高等部2段階 (B) 地球・自然	・地震 ・津波 ・台風 ・火山
	3	(知及技) プラスチックや金属、ガラスの特徴について理解することができる。 (思判表力) プラスチックや金属、ガラスの問題点について考えたことを表現することができる。 (学・人) プラスチックや金属、ガラスと自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。	(知・技) プラスチックや金属、ガラスの特徴について理解している。 (思・判・表) プラスチックや金属、ガラスの問題点について考えたことを表現している。 (主学) プラスチックや金属、ガラスと自分の生活との関わりについて主体的に調べている。	第3章 便利なくらし 1. 物質 (1) 身の回りにある物質① ★高等部2段階 (C) 物質・エネルギー	・プラスチックの特徴 ・金属の特徴 ・ガラスの特徴
3 学 期	3	(知及技) セメントやセラミックス等の特徴について理解することができる。 (思判表力) セメントを安全に使うために考えたことを表現することができる。 (学・人) セメントやセラミックス等と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。	(知・技) セメントやセラミックス等の特徴について理解している。 (思・判・表) セメントを安全に使うために考えたことを表現している。 (主学) セメントやセラミックス等と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。	(2) 身の回りにある物質② ★高等部2段階 (C) 物質・エネルギー	・セメントの特徴 ・その他の物質の特徴
	4	(知及技) 日常生活と関係の深いエネルギーの特徴について理解することができる。 (思判表力) エネルギーと環境問題の関わりについて考えたことを表現することができる。 (学・人) エネルギーと自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。	(知・技) 日常生活と関係の深いエネルギーの特徴について理解している。 (思・判・表) エネルギーと環境問題の関わりについて考えたことを表現している。 (主学) エネルギーと自分の生活との関わりについて主体的に調べている。	2. エネルギー・機械 (1) 日常生活に關係の深いエネルギー ★高等部2段階 (C) 物質・エネルギー	・電気 ・ガス ・石油
	5	(知及技) 日常生活と関係の深い機械や器具の使い方について理解することができる。 (思判表力) 機械や器具を使用する上で注意しなければならないことについて考え、表現することができる。 (学・人) 機械や器具と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。	(知・技) 日常生活と関係の深い機械や器具の使い方について理解している。 (思・判・表) 機械や器具を使用する上で注意しなければならないことについて考え、表現している。 (主学) 機械や器具と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。	(2) 日常生活に關係の深い機械・器具の使い方 ★高等部2段階 (C) 物質・エネルギー	・電気製品の使い方 ・ガス機器の使い方 ・エンジンのある機械 ・文房具の使い方
	4	(知及技) 生活用薬品の正しい使い方について理解することができる。 (思判表力) せっけんの働きや漂白剤の効果の観察を通して感じたことを表現することができる。 (学・人) 生活用薬品と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。	(知・技) 生活用薬品の正しい使い方について理解している。 (思・判・表) せっけんの働きや漂白剤の効果の観察を通して感じたことを表現している。 (主学) 生活用薬品と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。	3. 薬品・医薬品 (1) 身の回りの生活用薬品 ★高等部2段階 (C) 物質・エネルギー	・よごれを落とす生活用薬品 ・生活を快適にするための生活用薬品
	5	(知及技) 医薬品の正しい使い方について理解することができる。 (思判表力) 症状に合わせて正しい医薬品を選択することができる。 (学・人) 医薬品と自分の生活との関わりについて主体的に調べることができる。	(知・技) 医薬品の正しい使い方について理解している。 (思・判・表) 症状に合わせて正しい医薬品を選択している。 (主学) 医薬品と自分の生活との関わりについて主体的に調べている。	(2) 身の回りの医薬品 ★高等部2段階 (C) 物質・エネルギー	・薬の分類 ・主作用と副作用 ・主な一般用医薬品 ・その他の医薬品 ・薬の飲み方
留意点 引継ぎ等					

令和 5 年度 高等部 1～3 年（Ⅱ課程A） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
74	高校生の音楽Ⅰ、音楽☆☆☆☆、音楽☆☆☆☆☆	

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。 （思判表力）音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。 （学・人）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	11	（知及技）姿勢や口形を意識して発声ができる。 （思判表力）合図に合わせて発声したり部分的に歌詞を覚え歌うことができる。 （学・人）歌詞や曲想に合う歌い方をイメージし、歌詞を覚え自信を持って歌うことができる。	（知・技）本人なりに姿勢や口形を意識して発声しようとしている。 （思・判・表）合図や伴奏を聴いて発声したり歌唱しようとしている。 （主学）歌詞を覚え歌おうとしている。	「発声の仕方に気をつけて歌おう」	「発声の仕方に気をつけて歌おう」 ・発声練習を繰り返し行う。 ・行事の歌や既習曲(校歌・友だちになれたらいいな・翼をください等)を歌う。
	8	（知及技）器楽表現に関する知識や技能を得たり生かしたりすることができる。 （思判表力）学習した器楽表現についての知識・技能を生かして楽器を演奏することができる。 （学・人）器楽表現に関して得た知識・技能を生かして主体的に演奏に取り組むことができる。	（知・技）様々な楽器に興味を示し、楽器の扱い方や奏法を習得しようとしている。 （思・判・表）学習した器楽表現に関する知識・技能を生かして演奏しようとしている。 （主学）器楽表現に主体的に取り組もうとしている。	「リズムや速度を意識して演奏しよう」	「リズムや速度を意識して演奏しよう」 ・音符や休符の確認、楽器の取り扱い方、演奏法を学習する。 ・簡単なリズム譜を見て演奏練習を行う。
	8	（知及技）音楽の特徴、その背景となる文化や歴史について知り鑑賞できる。 （思判表力）音楽に関して得た知識を生かして鑑賞の感想を話したり、書いて伝えることができる。 （学・人）鑑賞して感じたことを教師や級友に発表することができる。	（知・技）音楽の特徴やその背景・文化や歴史を理解しようとしている。 （思・判・表）音楽に関して得た知識や感想をワークシートに書いたり、教師に伝えようとしている。 （主学）音楽を聴いて感じたことを本人なりに発表しようとしている。	「鑑賞しよう」	「鑑賞しよう」 ・平和学習、季節の音楽等の音楽が作られた背景や歴史をプリントやパワーポイント等で学習する。 ・動画教材を鑑賞し、感想等を発表する。
2 学期	15	（知及技）歌詞・音程を覚え歌唱できる。 （思判表力）合図に合わせて発声したり部分的に歌詞を覚え歌うことができる。 （学・人）伴奏や級友の歌声を聴いて、主体的に合唱に参加することができる。	（知・技）本人なりに歌詞や音程を覚え歌唱しようとしている。 （思・判・表）合図や伴奏を聴いて発声したり部分的に歌唱しようとしている。 （主学）主体的に合唱に参加しようとしている。	「友達の声や伴奏を意識して歌おう」	「友達の声や伴奏を意識して歌おう」 ・歌詞の意味や曲想についてプリントやパワーポイント等で学習する。 ・音楽記号等に気をつけて歌唱練習する。
	15	（知及技）器楽表現に関する知識や技能を得たり生かしたりすることができる。 （思判表力）学習した器楽表現についての知識・技能を生かして楽器を演奏することができる。 （学・人）伴奏や級友の演奏を聴いて、主体的に合奏に参加できる。	（知・技）様々な楽器に興味を示し、楽器の扱い方や奏法を習得しようとしている。 （思・判・表）学習した器楽表現に関する知識・技能を生かして演奏しようとしている。 （主学）伴奏や級友の演奏を聴き、演奏して合奏に参加しようとしている。	「音色や響きに気をつけて演奏しよう」	「音色や響きに気をつけて演奏しよう」 ・音符や休符の確認、楽器の取り扱い方、演奏法を学習する。 ・簡易学習を見て演奏練習を行う。 ・他パートの演奏や伴奏を聴いて合奏練習を行う。
3 学期	6	（知及技）音階に関する知識を得ることができる。 （思判表力）音階に関して得た知識を生かして、簡単な旋律を作ることができる。 （学・人）創作した曲を級友に発表することができる。	（知・技）音階に関する知識を理解しようとしている。 （思・判・表）本人なりに得た知識を生かして簡単な旋律を作ろうとしている。 （主学）創作した曲を級友に発表しようとしている。	「旋律をつなげて短い曲を作ろう」	「旋律をつなげて短い曲を作ろう」 ・音階について、郷土の音楽や西洋音楽を鑑賞したり、プリントやパワーポイント等で学習し、ワンフレーズを創作する。 ・創作した旋律を級友に発表する。
	11	（知及技）音楽の特徴、その背景となる文化や歴史について知り鑑賞できる。 （思判表力）音楽に関して得た知識を生かして鑑賞の感想を話したり、書いて伝えることができる。 （学・人）鑑賞して感じたことを教師や級友に発表することができる。	（知・技）音楽の特徴やその背景・文化や歴史を理解しようとしている。 （思・判・表）音楽に関して得た知識や感想をワークシートに書いたり、教師に伝えようとしている。 （主学）音楽を聴いて感じたことを本人なりに発表しようとしている。	「曲想の違いを感じて鑑賞しよう」	「曲想の違いを感じて鑑賞しよう」 ・郷土の音楽や西洋音楽が作られた背景や歴史をプリントやパワーポイント等で学習する。 ・動画教材を鑑賞し、感想等を発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部 1年（Ⅱ課程A） 美術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
74		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知・技) ・造形的な視点について理解するとともに、表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (思判表力) ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫について考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (学・人) ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表す。 (高1段階A(イ)) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 (高1段階A(ア)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 (高1段階(1)ウ)	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫している。 (思・判・表) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造しようとしている。	①表現 ・【モダンテクニック】 ・【デカルコマニー、スパッタリング、ストリング】 ・【染色】(折り染め) ・【空間に絵を描こう】 (ライトペインティング) ・【季節の壁面づくり】	・様々な材料や絵の具をはじめとする用具を用いて、描いたり、染めたりする。 ・LEDライトを動かしながら、iPadのカメラ(露光時間調整)やアプリを活用して、空間に光の線を描く。
		(知・技) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取る。 (高1段階B(ア)) (思判表力) 生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考える。 (高1段階B(イ)) (学・人) 身の回りにある自然物や人工物の造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考える。 (高1段階B(イ))	(知・技) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取っている。 (思・判・表) 生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えている。 (主学) 身の回りにある自然物や人工物の造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えている。	②鑑賞 ・【世界の名作鑑賞】 (「アートでストレッチ」) ・【季節の壁面づくり】	・授業開始前の準備運動として、アート作品(絵画、彫刻、建築物、デザインロゴなど)を音楽付き動画で鑑賞し、作品の形や特徴を真似しながら体操を行う。
2学期	30	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表す。 (高1段階A(イ)) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 (高1段階A(ア)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 (高1段階(1)ウ)	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫している。 (思・判・表) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造しようとしている。	①表現 ・【削って作ろう】 (スクラッチアート) ・【名画を再現してみよう】 (グリット転写) ・【ポスターをつくろう】 (みんなに伝えよう)	・画用紙を様々な色でカラフルに塗り、その上から黒のクレヨンで塗りつぶす。その後、尖った画材で黒い面を削りながら、模様を描く。 ・有名絵画を分割し、与えられたパーツの描写を行う。最後に、クラスメイト全員のパーツを組み合わせ、絵画を完成させる。 ・これまでに学習した、様々な技法を用いて、運動会のポスターを製作する。
		(知・技) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取る。 (高1段階B(ア)) (思判表力) 生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考える。 (高1段階B(イ)) (学・人) 身の回りにある自然物や人工物の造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考える。 (高1段階B(イ))	(知・技) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取っている。 (思・判・表) 生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えている。 (主学) 身の回りにある自然物や人工物の造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えている。	②鑑賞 ・【世界の名作鑑賞】 (「アートでストレッチ」) ・【ポスターをつくろう】 (みんなに伝えよう)	・授業開始前の準備運動として、アート作品(絵画、彫刻、建築物、デザインロゴなど)を音楽付き動画で鑑賞し、作品の形や特徴を真似しながら体操を行う。
3学期	20	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫して表す。 (高1段階A(イ)) (思判表力) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練る。 (高1段階A(ア)) (学・人) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。 (高1段階(1)ウ)	(知・技) 材料や用具の特性の生かし方などを身に付け、意図に応じて表現方法を工夫している。 (思・判・表) 対象や事象を見つめ感じ取ったことや考えたこと、伝えたり使ったりする目的や条件などを基に主題を生み出し、構成を創意工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 (主学) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造しようとしている。	①表現 ・【共同制作】 (卒業生への作品づくり)	・卒業する先輩方への感謝の気持ちを込めて、これまで学習した技法を活用し、クラスみんなで協力し合いながら、作品をつくる。
		(知・技) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取る。 (高1段階B(ア)) (思判表力) 生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考える。 (高1段階B(イ)) (学・人) 身の回りにある自然物や人工物の造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考える。 (高1段階B(イ))	(知・技) 美術作品などの造形的なよさや美しさを感じ取っている。 (思・判・表) 生活を美しく豊かにする美術の働きや美術文化について考えている。 (主学) 身の回りにある自然物や人工物の造形的な美しさなどを感じ取り、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考えている。	②鑑賞 ・【世界の名作鑑賞】 (「アートでストレッチ」) ・作品集づくり	・授業開始前の準備運動として、アート作品(絵画、彫刻、建築物、デザインロゴなど)を音楽付き動画で鑑賞し、作品の形や特徴を真似しながら体操を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部 II 課程A 保健体育 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
74		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能 等や心身の発育・発達、個人生活及び社会生活に必要な健康・安全 に関する事柄などの理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。(高等部2段階) (思判表力)各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に 応じて他者に伝える力を養う。(高等部2段階) (学・人)各種の運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。また、健康・安全に留意し、健康の保持増進と回復に自主的に取り組む態度を養う。(高等部2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	10	(知及技)体を動かす楽しさや心地よさを深く味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。(高2段階Aア) (思判表力)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と 思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Aイ) (学・人)きまりを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階Aウ)	(知・技)体を動かす楽しさや心地よさを深く味わっている。行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力などを高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせている。 (思・判・表)自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いたりして、ミーティングに参加している。 (主学)きまりやルールを守ろうとしている。自己の役割を果たし、仲間と協力しようとしている。場や用具の安全に気をつけて活動に取り組んでいる。見通しをもって自主的に運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。	体づくり運動 ・体ほぐし運動 ・体の動きを高める運動 ・体力測定	いろいろな条件で、歩いたり走ったり跳びはねたりする運動や仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行う ・リズムに乗って行う運動 ・サーキット ・ストレッチ 体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動の中から、一つのねらいを取り上げ、それを高めるための運動を効率 よく組み合わせで行う。 ・10分間走、 ・課題トレーニング ・用具を用いた運動
	12	(知及技)水泳の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた泳法を身に付けることができる。浮く、進む、呼吸をする等の基本的な技能や、複数の泳法及び自己に適した泳法を高めて泳ぐことができる。(高2段階Dア) (思判表力)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と 思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Dイ) (学・人)きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階Dウ)	(知・技)水泳の特性に応じた技能の理解している。目的に応じた泳法を身に付けている。浮く、進む、呼吸をする等の基本的な技能や、複数の泳法及び自己に適した泳法を高めて泳ぐことができる。 (思・判・表)自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いたりして、ミーティングに参加している。 (主学)きまりやルールを守ろうとしている。自己の役割を果たし、仲間と協力しようとしている。場や用具の安全に気をつけて活動に取り組んでいる。見通しをもって自主的に運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。	水泳	水泳の特性に応じ、目的に応じた技能を自己の特性に応じた泳法や課題に挑戦すること。 ・浮く ・進む→歩行、プル、キック ・呼吸(顔つけ) ・泳法の習得 (長く泳ぐ、早く泳ぐ)
2学期	12	(知及技)球技の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階Eア) (思判表力)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と 思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Eイ) (学・人)きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階Eウ)	(知・技)技術の名称や行い方などを理解しようとしている。仲間とともにゲームに参加している。 (思・判・表)自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いたりして、ミーティングに参加している。 (主学)きまりやルールを守ろうとしている。自己の役割を果たし、仲間と協力しようとしている。場や用具の安全に気をつけて活動に取り組んでいる。見通しをもって自主的に運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。	球技(ターゲット型)	ポッチャ ・課題練習 ・個人戦 ・団体戦
	12	(知及技)球技の特性に応じた技能の理解を深めるとともに、身体や用具を操作してボールを返球し、返球後に自分のコートに空いた場所を作らないように定位置に戻る動きを身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階Eア) (思判表力)自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と 思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Eイ) (学・人)球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階Eウ)	(知・技)風船バレーボールの技能を理解している。身体を操作してボールを返球している。返球後に自分のコートに空いた場所を作らないように定位置に戻る動きを身に付けている。 (思・判・表)自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いたりして、ミーティングに参加している。 (主学)きまりやルールを守ろうとしている。自己の役割を果たし、仲間と協力しようとしている。場や用具の安全に気をつけて活動に取り組んでいる。見通しをもって自主的に運動しようとしている。 【評価資料】活動の様子の観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。	球技(ネット型)	風船バレーボール ・チーム練習 ・ゲーム

	8	(知及技) 特性に応じた技能の理解を深めるとともに、身体やバット操作と走塁での攻撃、ポジションの決められた位置に戻ったりする動きを身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階Eア) (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と 思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Eイ) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階Eウ)	(知・技) ベースボールの技能を理解している。身体やバット操作と走塁での攻撃、ポジションの決められた位置に戻ったりする動きを身に付けている。 (思・判・表) 自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いたりして、ミーティングに参加している。 (主学) きまりやルールを守ろうとしている。自己の役割を果たし、仲間と協力しようとしている。場や用具の安全に気を付けて活動に取り組んでいる。見通しをもって自主的に運動しようとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。	球技（ベースボール型）	ベースボール ・チーム練習 ・ゲーム
3 学 期	20	(知及技) 特性に応じた技能の理解を深めるとともに、ボール操作と攻撃や守備の際に空間に走り込むなどの動きを身に付け、ゲームを行うことができる。(高2段階Eア) (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と 思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。(高2段階Eイ) (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をすることができる。(高2段階Eウ)	(知・技) 車イスサッカーの技能を理解している。ボール操作と攻撃や守備の際に空間に走り込むなどの動きを身に付けている。 (思・判・表) 自分の考えを伝えたり、仲間の意見を聞いたりして、ミーティングに参加している。 (主学) きまりやルールを守ろうとしている。自己の役割を果たし、仲間と協力しようとしている。場や用具の安全に気を付けて活動に取り組んでいる。見通しをもって自主的に運動しようとしている。 【評価資料】 活動の様子を観察、実技テスト、ペーパーテスト、振り返りシート等で評価する。	球技（ゴール型）	車イスサッカー ・チーム練習 ・ゲーム
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部 1年（Ⅱ課程A）職業 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
140	なし	

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）働くことに対する関心を高め、将来の職業生活に係る基礎的な知識や技能を身に付けるようにする。（中職業2段階） （思判表力）将来の職業生活に必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践し、学習したことを振り返り、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。（中職業2段階） （学・人）将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。（中職業2段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
通年		（知及技）【職業生活に必要な知識や技能について知ることができる】正しい身なりで道具を安全に使い、指示された作業に取り組むことができる。（中1段階-Aイア㊟） （思判表力）意欲や見通しをもって取り組み、自分と他者の関係や役割について考えることができる。（中2段階-Aアイイ） （学・人）働くために必要な力について知ることができる。（中1段階-Aアア）	（知・技）身だしなみを整えようとしている。道具を安全に使用しようとしている。指示された作業に取り組もうとしている。 （思・判・表）自分の担当する作業内容、作業場所、必要な道具を理解しようとしている。 （主学）教室への入退室や仕事の始め終わりなど、必要な場面で挨拶している。	「職業の心得」仕事に必要な身だしなみ、挨拶、報連相、確認、協力、清掃、安全について。 「作業内容、目標について」 作業内容(方法)、作業場所、必要な道具について。	・作業中意識して欲しいことを、ミーティング時に復唱して仕事で大切なことを意識するようにする。 ・挨拶や報告など作業内容毎に立てられた目標の具体的な行動を意識して行うことができる。 ・作業名、作業場所、使用道具、について知り、手順や安全な作業について考える。
1学期	48	（知及技）職業生活に必要な知識や技能について知ることができる。（中1段階-Aアア） （思判表力）意欲や見通しをもって取り組み、自分の役割について気付くことができる。（中1段階-Aアイイ） （学・人）職業生活に必要な健康管理について気付くことができる。（中1段階-Aイイ㊟）	（知・技）働くことの目的や授業の目標、活動内容を理解しようとしている。 （思・判・表）作業内容に見通しを持ちながら、目標や役割について考えようとしている。 （主学）気温に応じた服装や自分の体調管理について考えながら授業に望もうとしている。	「職業オリエンテーション」	・自己紹介 ・授業の目標確認 ・年間計画の確認 ・リーダーの決定 ・会社名決め ・看板作成
		（知及技）コンピュータ等の情報機器の初歩的な操作の仕方を知ることができる。（中1段階-Bア） （思・判・表）コンピュータ等の情報機器に触れ、体験したことなどを他者に伝えることができる。（中1段階-Bイ） （学・人）他者の発表を聞いて、自分以外の様々な考えに気づくことができる。（中1段階-Cイ）	（知及技）パソコンやiPad等の基本的な使い方を理解して使用している。 （思・判・表）商品広告や宣伝等で自分の活動内容や作品を他者に伝えようとしている。 （主学）他者の発表を聞いて、自分の意見との共通点や違いなどを見つけようとしている。	「名刺づくり」 名刺注文受注・作成、注文の受け方、袋詰め、計算練習、挨拶練習、販売実践	・名刺の作成（デザイン決め、文字入力、画像挿入） ・注文の取り方 ・注文書やデザインのカタログ作成 ・仕入れの価格と販売価格を考えて、値段決定 ・商品プレゼン ・料金の受け取り方、商品の渡し方の練習 ・アプリや計算機を利用した計算練習 ・名刺の販売実践
2学期	60	（知及技）材料や育成する生物等の特性や扱い方及び生産や生育活動等に関わる基礎的な技術について理解することができる。（中2段階-Aイア㊟） （思判表力）作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。（中1段階-Aイイ㊟） （学・人）挨拶や報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組むことができる。（中2段階-Aアウ）	（知・技）播種や収穫など、作業内容や手順、必要な準備、片付けなどを理解し取り組むもうとしている。 （思・判・表）使用する道具を安全に扱おうとしている。収穫する野菜を傷つけないようにするなど衛生について工夫して作業しようとしている。 （主学）作業内容を理解し、自主的に活動しようとしている。報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。	「作物の栽培」 水耕栽培（播種、間引き、施肥、収穫）、作業場の準備・片付け	・播種：細かな種を丁寧に撒く。 ・施肥：適切な場所に適切な量を散布できるようにする。 ・収穫：収穫に適した大きさをを見極め、傷つけないように収穫する。 ・収穫した野菜を家族に届けることで、達成感を得られるようにする。 ・自主的に作業場の清掃、片付けができるようにする。
		（知及技）作業課題が分かり、使用する道具や機械等の扱い方を理解することができる。（中2段階-Aイア㊟） （思判表力）作業に当たり安全や衛生について気付き、工夫することができる。（中1段階-Aイイ㊟） （学・人）挨拶や報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組むことができる。（中2段階-Aアウ）	（知・技）作業内容や手順、道具、機械等の扱いを理解しようとしている。 （思・判・表）使用する道具の安全性について考えようとしている。作業では材料を傷つけないように工夫して作業しようとしている。 （主学）作業内容を理解し、自主的に活動しようとしている。報告の場面などがわかり、自分から学習活動に取り組もうとしている。	「木工品製作」 作業時の安全事項、工具・道具の使用・管理、レーザー彫刻、コースター製作、キーホルダー製作、ベンチ製作	・工具、機械の使用 ・安全確認について ・材料の準備 ・磨き ・組み立て ・仕上げ作業 ・レーザー彫刻デザインの検討 ・作業場の準備、片付け、清掃
3学期	32	（知及技）職業生活を支える社会の仕組み等があることを知ることができる。（中1段階-Aアイイ㊟） （思判表力）作業上の安全や衛生及び作業の効率について考え、工夫することができる。（中2段階-Aイイ㊟） （学・人）作業や実習等に達成感を得て、進んで取り組むことができる。（中2段階-Aアウ）	（知・技）販売学習を経験し、給料等の仕組みについて関心を持つようとしている。 （思・判・表）販売する商品に対しての衛生面や作業、接客等の効率について考え工夫しようとしている。 （主学）達成感を得ながら将来の職業生活をイメージし、自ら進んで取り組もうとしている。	「商品の模擬販売」 内容の選定、商品準備（袋詰め、値段の設定、値札作成、チラシ作り）、接客、販売、お金の計算、振り返り	・包装やラベル作成 ・広告のデザイン ・値段の決定 ・値札作成 ・会計練習 ・販売時の挨拶練習 ・接客マナーの向上 ・1年間の振り返り
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部 1年（Ⅱ課程A）家庭科年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
74	東洋館出版社 くらしに役立つ家庭	

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎を理解し、それらに係る技能を身に付ける。（高1段階） （思判表力） 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして、課題を解決することができる。（高1段階） （学・人） 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとするすることができる。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	14	（知及技） 家族とのよりよい関わり方について考えることができる。（高1段階 Aア(イ)） （思判表力） 家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気付く。（高1段階 Aア(ア)） （学・人） 家族とのよりよい関わり方について考え、表現することができる。（高1段階 Aイ(イ)）	（知・技） 家族とのよりよい関わり方について考えている。 （思・判・表） 家族で仕事を分担することで、よりよい家庭生活が築けることに気付いている。 （主学） 家族の生活時間を見直し、よりよく生活する方法について考えている。 【評価資料】 授業プリント・活動の取り組み方（発言等）	単元 「家族とくらし」 ・家族や家庭の役割 ・高齢者とともに ・支え合う生活	・自分の生活と家族の役割について考える。 ・生活的自立に向けて、自分のできることを探す。 ・食事配膳、整理整頓、洗濯、アイロン、拭き掃除などの体験。 ・ライフステージの変化について知る。
	12	（知及技） 用途に応じた食品の選択、食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理、材料に適した加熱調理の仕方について知り、簡単な日常食の調理ができる。（高1段階 Bイ(ア)） （思判表力） 簡単な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。（高1段階 Bイ(イ)） （学・人） 健康に良い食習慣について考え、工夫することができる。（高1段階 Bア(イ)）	（知・技） 調理用具の使い方に気をつけて、調理を進めている。 （思・判・表） 簡単な食事の献立や調理計画についてを考えている。 （主学） 自分の食生活を振り返って改善点を見つけ出し、工夫しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の取り組み方（発言等）	単元 「食事と健康」 ・食事と健康 ・調理の基礎技能・実習	・自身の食生活を見直し、栄養の大切さについて知る。 ・身近な食材の島野菜を取り上げ、栄養や調理方法について考える。 ・身体に優しいおやつのレシピを考える。
2 学期	14	（知及技） 目的に応じた縫いや用具の安全な取扱いが適切にできる。（高1段階 Bエ(ア)） （思判表力） 衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用及び衣服の適切な選択について考えることができる。（高1段階 Bウ(ア)） （学・人） 衣服の選択について考え、工夫することができる。（高1段階 Bウ(ア)(イ)）	（知・技） 裁縫用具の安全な取扱い方法を理解し、小物を完成している。 （思・判・表） 目的に応じた衣服の着装について理解している。 （主学） 着やすさ、着心地などについて考え、購入の仕方を工夫しようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の取り組み方（発言等）	単元 「被服」 ・TP0に合わせた服装 ・衣服の素材 ・衣服の表示 ・実習	・衣服の機能について考える。 ・生活や目的に応じた服装について考える。 ・衣生活の計画について考える。 ・裁縫用具の名前と安全な使い方について学ぶ。 ・道具の準備と片付けについて確認する。 ・裁断、アイロンがけ等を行う
	14	（知及技） 家族の生活と住空間との関わりや住居の基本的な機能について分かる。（高1段階 Bオ(ア)） （思判表力） 自分に合った住空間について考え表現することができる。（高1段階 Bオ(イ)） （学・人） 家族の安全や快適さを考えた住空間について考えることができる。（高1段階 Bオ(イ)）	（知・技） 現代の住まいの特徴について理解している。 （思・判・表） 自分のライフスタイルに応じた住空間を考えている。 （主学） ライフステージに応じた住まいの特徴や機能について理解し、表現している。 【評価資料】 授業プリント・活動の取り組み方（発言等）	単元 「快適な住まい」 ・室内環境	・安全に快適に過ごすにはどのような住居がいいのか。 ・昔の造りを調べ、工夫を学ぶ。 ・現代の居住問題について考える。 ・県内と県外の住居の違い ・日本と外国の住居の造りの違い
3 学期	20	（知及技） 購入方法や支払方法の特徴が分かる。（高1段階 Cア(ア)㊟） （思判表力） 家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気付くことができる。（高1段階 Cイ(ア)） （学・人） 責任ある消費行動を考えることができる。（高1段階 Cイ(イ)）	（知・技） 購入方法や支払方法の特徴を理解している。 （思・判・表） 家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について気付いている。 （主学） 責任ある消費行動を考えようとしている。 【評価資料】 授業プリント・活動の取り組み方（発言等）	単元 「ライフスタイルと環境」 ・計画的な消費生活 ・消費者教育出前講座 ・環境に配慮した生活 ・余暇の過ごし方 ・調理の基礎・技能実習	・自分の消費行動を振り返る。 ・消費する意思決定について考える。 ・支払い方法の多様化について知る。 ・消費者トラブルの解決策を考える。

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

令和5年度 高等部 1 年（Ⅱ課程A） 外国語 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
39		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音声や文字，語彙，表現などについて日本語と外国語との違いに気付くとともに，読むこと，書くことに慣れ親しむ。（高1段階） (思判表力) 音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などを真似ながら読んだり，外国語の文字をなぞって書いたりして，自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力（高1段階） (学・人) 外国語の背景にある文化について理解し，相手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。（高1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	(知及技) 文字を見て日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。【高1段階ア(ア)㉔】 (思判表力) 簡単な語句を聞き，それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。【高1段階ウ(ア)㉔】 (学・人) 外国語の背景にある文化について知り，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。【高1段階(1)ウ】	(知・技) 日本語と英語の表記と音声の違いについて理解している。 (思・判・表) 日本語と英語の意味の違いを理解している。 (主学) 外国の文化について主体的に学ぼうとしている。英語を積極的に用いようとしている。	あいさつ、日付、気持ち 自己紹介 ・趣味、得意なこと 家族を紹介する ・アメリカと日本の母の日 ・母の日に関する語句、表現 ・母親を紹介する	・趣味や得意なことなどに関する語句を音声や文字で確認し、イラストなどと結びつける。・家族に関する語句の学習をし、自分家族構成について英語で表現する。・母の日のカード作成。
	5	(知及技) 文字を見て日本語の音声との違いに気付くことができる。【高1段階ア(ア)㉔】 (思判表力) 日付や時刻，値段などを表す表現など，身近で簡単な事柄について，表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。【高1段階ウ(ア)㉔】 (学・人) 外国語の背景にある文化について知り，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。【高1段階(1)ウ】	(知・技) 文字を見て日本語の音声との違いに気付いている。 (思・判・表) (主学) 外国の文化について主体的に学ぼうとしている。英語を積極的に用いようとしている。	あいさつ、日付、気持ち アルファベット/ローマ字 ・自分や友だちの名前の綴り ・身の回りのアルファベットやローマ字	・アルファベット大文字、小文字 ・自分の名前の書き方 ・標識や商品などの表記の学習
	6	(知及技) 英語の音声や文字も，事物の内容を表したり，要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。【高1段階ア(ア)㉔】 (思判表力) 簡単な語句を聞き，それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。【高1段階ウ(ア)㉔】 (学・人) 外国語の背景にある文化について知り，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。【高1段階(1)ウ】	(知・技) 英語の表記の表す内容があることを理解している。 (思・判・表) 英語表記の表す内容を理解している。 (主学) 外国の文化について主体的に学ぼうとしている。英語を積極的に用いようとしている。	あいさつ、日付、気持ち 商品名 ブランド名 夏に関する言葉	・商品名やブランド名を読んだり、発音する活動。イラストや文字を結びつける活動。 ・夏に関する語句を読んだり、発音する活動。イラストや文字を結びつける活動。 ・自分の体験と英語表現を結びつけて発表
2 学期	6	(知及技) 文字を見て日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。【高1段階ア(ア)㉔】 (思判表力) 簡単な語句を聞き，それらを表すイラストや写真などと結び付けることができる。【高1段階ウ(ア)㉔】 (学・人) 外国語の背景にある文化について知り，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。【高1段階(1)ウ】	(知・技) 英語の表記の表す内容があることを理解している。 (思・判・表) 英語表記の表す内容を理解している。 (主学) 外国の文化について主体的に学ぼうとしている。英語を積極的に用いようとしている。	あいさつ、日付、気持ち 街の中の英語 ・英語の標識、看板 ・英語の店名 ・商品や車の社名など 外来語	・街の中にある英語表現やアルファベットでの表現を読み、写真などを確認する活動。 ・外来語のカタカナと英語表記を見比べ、結びつける活動。
	6	(知及技) 文字を見て日本語の音声や文字などとの違いに気付く。【高1段階ア(ア)㉔】 (思判表力) 簡単な事柄について，音声で十分に慣れ親しんだあと，それらが表す事柄を想像しながら読むことができる。【高1段階ウ(ア)㉔】 (学・人) 外国語の背景にある文化について知り，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする。【高1段階(1)ウ】	(知・技) 英語の表記の表す内容があることを理解している。 (思・判・表) 英語表記の表す内容を理解している。 (主学) 外国の文化について主体的に学ぼうとしている。英語を積極的に用いようとしている。	あいさつ、日付、気持ち 感謝祭 ・アメリカの感謝祭 クリスマス ・クリスマスパーティーに必要なもの ・クリスマスカード作成	・英語圏の行事について知り、自国の文化と比較する活動。 ・カード作成を行い、感謝している人へメッセージを英語で表現する。
3 学期	6	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り，それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。【高1段階ア(ア)㉔】 (思判表力) 簡単な事柄について，音声で十分に慣れ親しんだあと，それらが表す事柄を想像しながら読むことができる。【高1段階ウ(ア)㉔】 (学・人) 外国語の背景にある文化について知り，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。【高1段階(1)ウ】	(知・技) 簡単な英語表現表す内容を理解している。 (思・判・表) 簡単な英語表現を使って (主学) 外国の文化について主体的に学ぼうとしている。英語を積極的に用いようとしている。	あいさつ、日付、気持ち 世界のお正月 レストラン（英語のメニュー）	・世界のお正月の状況を知り、自国との比較を行う活動。 ・正月の挨拶を伝え合う活動。 ・レストランで見かける簡単な語句を選び出したり、発音する活動。 ・注文にチャレンジ
	5	(知及技) 簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り，それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。【高1段階ア(ア)㉔】 (思判表力) 簡単な事柄について，音声で十分に慣れ親しんだあと，それらが表す事柄を想像しながら読むことができる。【高1段階ウ(ア)㉔】 (学・人) 外国語の背景にある文化について知り，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとすることができる。【高1段階(1)ウ】	(知・技) 簡単な語句や基本的な表現を使い、相手に伝えることができる。 (思・判・表) 英語表現が表す内容をイラストと結び付けることができる。 (主学) 外国の文化について主体的に学ぼうとしている。英語を積極的に用いようとしている。	高校生活の思い出 ・楽しかったこと ・Thank youカード作成	・その年度楽しかった思い出などを英文にし、友人や先生に伝える活動。 ・離任する先生やお世話になった先生方へThank youカードを作成する。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部1～3年（Ⅱ課程A） 情報 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名
1単位 ／39時間					
目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		（知及技）身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できる。 （思判表力）身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 （学・人）身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。 （高等部 1 ～ 2 段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	14	（知及技） 身近にある問題を解決できる方法を知ることができる。（高 1 段階） （思判表力） 身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えることができる。（高 1 段階） （学・人） 情報社会に関わろうとすることができる。（高 1 段階）	（知・技） 身近にある問題を解決できる方法を知ろうとしている。 （思・判・表） 身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えようとしている。 （主学） 情報社会に関わろうとしている。	単元「情報とは」 情報の性質と行動の原理について学ぶ。 教室の利用方法を理解する。	「情報とはなにかを学ぼう」 情報について理解できるようにする。
		（知及技） 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ることができる。（高 1 段階） （思判表力） 身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えることができる。（高 1 段階） （学・人） 情報社会に関わろうとする態度を養うことができる。（高 1 段階）	（知・技） 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知ろうとしている。 （思・判・表） 身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考えようとしている。 （主学） 情報社会に関わろうとする態度を養うとしている。	単元「情報トラブル」 ・ SNSの利用について動画を見て、注意点を話し合い利用する人の心構えを学ぶ。 ・ スマートフォンやタブレット端末のマナー利用方について動画を見て、注意点を話し合い利用する人の心構えを学ぶ。 ・ 不正アクセスとコンピュータウイルスについて動画を見て、注意点を話し合い利用する人の心構えを学ぶ。 ・ 詐欺・架空請求について動画を見て、注意点を話し合い利用する人の心構えを学ぶ。 ・ ネットショッピングにはクーリングオフ制度は利用できないことについて動画を見て、注意点を話し合い利用する人の心構えを学ぶ。	「サイバー犯罪を知ろう」 身近にある携帯端末を利用した、SNSの利用方法、情報マナー、サイバー犯罪・詐欺、架空請求、ネットショッピングのトラブルについて具体的な事例で理解できるようにする。
		（知及技） 基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを身に付けることができる。（高 2 段階） （思判表力） 問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できる。（高 2 段階） （学・人） 情報社会に参画しようとする態度を養うことができる。（高 2 段階）	（知・技） 基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを身に付けようとしている。 （思・判・表） 問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。 （主学） 情報社会に参画しようとする態度を養うとしている。	単元「データ処理の活用」 ・ ソフトの使い方について学ぶ。 ・ フォルダの階層や利用について学ぶ。 ・ 技能検定を意識したデータ処理方法を学ぶ。	「情報機器を利用しよう」情報の活用方法を理解できるようにする。
		（知及技） 基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを身に付けることができる。（高 2 段階） （思判表力） 問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できる。（高 2 段階） 情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養うことができる。（高 2 段階） （学・人） 情報社会に参画しようとする態度を養うことができる。（高 2 段階）	（知・技） 基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを身に付けようとしている。 （思・判・表） 問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用しようとしている。 情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養おうとしている。 （主学） 情報社会に参画しようとする態度を養うとしている。	単元「ソフトの活用」 ・ 技能検定に沿った情報処理方法を学ぶ。	「情報機器を利用しよう」情報の活用方法を理解できるようにする。

2 学 期	18	(知及技) 身近で基本的な、法規や制度、個人の責任について考えることができる。(高2段階) (思判表力) 法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を捉え、考えることができる。(高2段階) (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用することができる。(高2段階)	(知・技) 身近で基本的な、法規や制度、個人の責任について考えようとしている。 (思・判・表) 法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を捉え、考えようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を適切に活用しようとしている。	単元「Web利用」 ・Web検索による情報収集について学ぶ。 ・著作権法について学ぶ。 ・クリエイティブコモンズについて学ぶ。	「著作権について考えよう」 情報の収集・整理、情報に関する法律、著作権フリーについて理解できるようにする。
		(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができる。(高1段階) (思判表力) 目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えることができる。(高1段階) (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用することができる。(高1段階)	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 (思・判・表) 目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を活用しようとしている。	単元「パソコンを利用した自己紹介」 ・プレゼンテーションソフトの基本的な操作法を学ぶ。 ・効果的な表現法を身につける。	「プレゼンで自己紹介」 プレゼンテーションソフトの使い方、スライドの作成、図形による表現、クリップアートの挿入、グラフ表現、アニメーションや画面切り替えについて理解できるようにする。
		(知及技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ることができる。(高1段階) (思判表力) 目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えることができる。(高1段階) (学・人) 身近にある情報や情報技術を活用することができる。(高1段階)	(知・技) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知ろうとしている。 (思・判・表) 目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考えようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を活用ようとしている。	単元「アプリの活用」 PCやタブレット端末を利用する。 ・マップアプリで現在地や希望する場所の検索ができる。 ・交通アプリで時間やルートを検索できる。 ・タイピング練習で読めない漢字をよみかた漢字アプリで検索する方法を学ぶ。 ・カレンダー機能を利用し、スケジュールの管理を学ぶ。 ・テレビ会議システムアプリの接続、設定、利用ルールやモラルについて学ぶ。	「アプリを利用しよう」情報の活用方法を理解できるようにする。
3 学 期	7	(知及技) 情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けることができる。(高2段階) (思判表力) メディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択することができる。(高2段階) (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用することができる。(高2段階)	(知・技) 情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) メディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択しようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を適切に活用しようとしている。	単元「画像処理」 ・図形や画像について学ぶ。 ・出所を正しく表示する方法を学ぶ。	「画像の取り扱いについて学習しよう」 データの入力方法、保存、図形や画像の挿入、画像の引用について理解できるようにする。
		(知及技) 基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けることができる。(特高2段階) (思判表力) 基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直すことができる。(高2段階) (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用することができる。(高2段階)	(知・技) 基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直すようとしている。 (主学) 身近にある情報や情報技術を適切に活用しようとしている。	単元「レゴマインドストームプログラミング」 ・アルゴリズムを学習するアイコン型プログラミングを通して並行処理について学ぶ。	「アルゴリズムを体験しよう」 コンピュータへの命令方法を理解できるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部 (Ⅱ課程A) 道徳 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
10		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。(A 主として自分自身に関すること)	・自分の夢や目標について考え、自己向上のための目標を教師と一緒に設定している。 ・苦しいことに対する向き合い方について考え、改善に向けて教師の支援を受けながら取り組んでいる。 【評価資料】授業での表現や授業後の態度で評価	「向上心、個性の伸長」	・1学期の個人目標や学級目標を立てる。
		勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通じて社会に貢献する。(C 主として集団や社会との関わりに関すること)	・職業生活のイメージを持ち、実習に向けて気持ちや体調を整えている。 ・教師と一緒に生活習慣を見直し、規則正しい生活習慣についての意識を高めている。 【評価資料】授業での表現や授業後の態度で評価	「勤労について考えよう」	・前期校内実習に向けて意識する。 ・生活習慣の見直しをする。 ・職業生活について考える。
		生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重する。(D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること)	・：	「生命の尊さ」 「よりよく生きる喜び」	・平和学習をする。 ・慰霊の日に向けて、沖縄戦の学習をし、郷土の歴史や命の大切さについて再確認する。 ・命について考える。
2 学期	3	友情の尊さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励ましあい、高めあうとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深める。(B 主として人との関わりに関すること)	・男女のへだてなく接し、信頼しあっている。 ・相手の気持ちを大切にした言葉や態度を意識している。 ・相手に合わせた距離感を知り、教師の支援を受けながら生活の中で意識した行動をしている。 【評価資料】授業での表現や授業後の態度で評価	「友情と信頼」	・心と体の学習をする。 ・人との距離感について知る。 ・いじめについて考える。 ・「あったかことば」と「ちくちくことば」を知る。
		自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高める。(B 主として人との関わりに関すること)	・約束やきまりを守り、みんなが使うものやみんなのものを教師の支援を受けながら大切に切り扱っている。 ・身の回りの公共物や公共の場所は、どのように使ったり、過ごしたりすればよいのかを知り、教師の支援を受けながら行動している。 ・情報モラルについて学び、教師の支援を受けながら自身の生活の中で意識している。 【評価資料】授業での表現や授業後の態度で評価	「相互理解、寛容について学ぼう」	・世界エイズデーについて知る。 ・LGBTについて学ぶ。 ・障害者差別解消法を学ぶ。
3 学期	3	自然の崇高さを知り、自然環境を大切に持続可能な社会の実現に努めよとする態度を育てる。(D 主として生命や自然、崇高な物との関わりに関すること)	・環境問題について知り、環境保全への思いを高め、自分にもできそうなことを考えている。 【評価資料】授業での表現や授業後の態度で評価	「自然愛護について考えよう」	・SDGSを学ぶ。 ・環境問題について考える。 ・リサイクルについて学ぶ。 ・地域清掃をする。
		学校や学級の一員としての自覚を持ち、協力し合ってよりよい校風を作るとともに、様々な集団の意義や集団生活の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努める。(C 主として集団や社会との関わりに関すること)	・集団活動に進んで参加し、集団の一員として自覚を持っている。 ・集団の一員として、自分の役割を知り積極的に役割を果たしている。 【評価資料】授業での表現や授業後の態度で評価	「よりよい学校生活について考えよう」 「集団生活の充実について考えよう」	・生産物販売会に向けて準備をする。 ・合同美化活動をする。
		より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気もち、困難や失敗を乗り越えて、着実にやり遂げる。(A 主として自分自身に関すること)	・1年間を振り返り、がんばったこと、苦手だけど前向きに取り組めたことを教師と一緒に確認し理解している。 ・卒業後の目標を設定し、教師と一緒に意識した取り組みをしている。 【評価資料】授業での表現や授業後の態度で評価	「勇気と希望、克己と強い意志」	・自己の1年間を振り返り、卒業後に向けた目標を設定し、意識した生活が行えるようにする。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部 1～3年（2a課程） 年間指導計画

単位数 ／配当時数		教科書／副教材等			担当者名
35					
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己表現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技)ホームルームや学校の生活を向上・充実するために課題を見だし、他者と話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むことの大切さを理解することができる。 (思判表力)ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、協働して実践することができる。 (学・人)ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら学校生活や日常生活の向上・充実を図る態度を養う。	①(知・技)ホームルームや学校の生活を向上・充実するために課題を見だし、他者と話し合って解決することや他者を尊重し、協働して取り組むようとしている。 ①(思・判・表)ホームルームや学校の生活を向上・充実するための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、協働して実践している。 ①(主学)ホームルームや学校における生活や人間関係をよりよく形成し、多様な他者と積極的に協働しながら学校生活や日常生活の向上・充実を図ろうとしている。	入学式 学級開き 身体計測 児童生徒総会(1) 新入生歓迎会 福井県との交流学習 第1回火災避難訓練 1学期終業式	・自己紹介をし合い、互いのことを知る。 ・学級目標を話し合って決める。 ・個人目標を決める。 ・学校生活について考える。 ・地域の事について調べ、相手に発表する。 ・火災時の避難の仕方を身に付ける。
2 学期	14			2学期始業式 第2回火災避難訓練 地震・津波避難訓練 運動会 2学期終業式	・火災時の避難の仕方を身に付ける。 ・地震や津波が起きたときの非難の仕方を身に付ける。 ・規律ある集団行動について考え、実践する。
3 学期	9			3学期始業式 中部農林高校との交流 生徒会役員選挙(1) 3年生を送る会 高等部卒業式 小中卒業式 修了式・離任式	・地域の他校の生徒と交流する。 ・生徒会役員選挙に参加する。 ・3年生を送る会について考える。 ・儀式的場における礼儀やマナーについて考え、規律ある行動を実践する。
留意点 引継ぎ等					

令和5年度 高等部1～3年（Ⅱ課程A）総合的な探究の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
70	なし	

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 自分を知り、職業について学習することで将来の進路について考え、自分の興味・関心、能力、個性にあった進路計画を立てることができるようにする。 (思判表力)職業の進路決定に必要な能力・態度の育成と将来の職業生活に必要な態度やコミュニケーション能力を養う。 (学・人) キャリア教育4つの力「かかわる力」「ふり返る力」「やりぬく力」「みとおす力」を身に付けられるようにする。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容	
年間指導を すすめて		(知及技) 相手に伝わるよう、まとめて話すことができる。 (思判表力) 表現力やコミュニケーション能力を高める。 (学・人) 主体的・協働的に学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 発表内容をまとめて、時間内に話すようにしている。 (思・判・表) 人前で話す機会を得ることで、様々な伝え方を学び、語彙力も増えて、表現力を高めるようにしている。 (主学) 自ら学び伝え、グループで話し合うなど主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。	①かかわる力(人間関係形成・社会形成能力を身に付ける) 【よりよい学校生活、集団生活の充実】 【礼儀】 ・スピーチ練習 ・あいさつ練習 ・面接練習	①「かかわる力」 ・話す内容を簡潔にまとめて時間内に伝える ・基本的なあいさつ練習を行う。 ・進学、就職に向けて活用できる面接練習に取り組む。	
	1 学期	24	(知及技) 自分の資質・適性を理解し、進路を真剣に考えることができる。 (思判表力) 表現力やコミュニケーション能力を発揮することができる。 (学・人) 自己の希望進路や関心に基づいて社会の特徴をとらえ、主体的・協働的に学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 卒業後の進路に向けて、自己理解しようとしている。 (思・判・表) iPadなど情報機器を活用することで、プレゼンテーション方法を高めコミュニケーション力を発揮するようにしている。 (思・判・表) 進路学習や就業体験に、主体的・協働的に取り組もうとしている。	②ふり返る力(自己理解、自己管理能力) ・キャリアガイダンス ・キャリアパスポート (自己理解) ・進路の手引き (職業理解・勤労観の育成) ●みとおす力(キャリアプランニング能力) 【礼儀】 ・進路学習 ●やりぬく力(課題対応能力) ・前期就業体験就業体験(2、3年) 【礼儀】 ・校内実習(1年) 【よりよい学校生活、集団生活の充実】 ●交流学習	②「ふり返る力」 ・本教科の目的について理解する。 ・自己の将来と学校での学びとのかかわりに目を向け、何のために学ぶかを考える。 ・自己を生かすために、自己理解が必要であることを知り、コミュニケーションや他者理解の重要性について考える。 ●「みとおす力」 ・卒業後の生活を充実するための様々な福祉サービスの種類や利用法を知り、自分で考えて行動することの必要性を理解する。 ●「やりぬく力」 ・就業体験の意義を知り、目標立てや課題を見つける。 ・最後までやり遂げる。 ・結団式、報告会でプレゼンテーションを行う。 ●他校の生徒と交流し、互いの生活、文化を理解する
	2 学期	30	(知及技) 自分の資質・適性を理解し、進路を真剣に考えることができる。 (思判表力) 表現力やコミュニケーション能力を発揮することができる。 (学・人) 自己の希望進路や関心に基づいて社会の特徴をとらえ、主体的・協働的に学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 卒業後の進路に向けて、自己理解しようとしている。 (思・判・表) iPadなど情報機器を活用することで、プレゼンテーション方法を高めコミュニケーション力を発揮するようにしている。 (思・判・表) 進路学習や就業体験に、主体的・協働的に取り組もうとしている。	③やりぬく力(課題対応能力) 【礼儀】 ・後期就業体験(1、3年) ・仕事について(2年) ●産業教育フェア ●みとおす力(キャリアプランニング能力) 【礼儀】 ・進路学習	③「やりぬく力」 ・就業体験の意義を知り、目標立てや課題を見つける。 ・最後までやり遂げる。 ・将来の仕事について調べ学習をする。 ●「産業教育フェア」 ・県内、各高等学校の特色や授業の様子などをWEB見学する ●「みとおす力」 卒業生の実際の生活を知ること、将来的に1人暮らしをする際のイメージを持つことができる。 (ライフプラン作成)
3 学期	16	(知及技) 自分の資質・適性を理解し、進路を真剣に考えることができる。 (思判表力) 表現力やコミュニケーション能力を発揮することができる。 (学・人) 自己の希望進路や関心に基づいて社会の特徴をとらえ、主体的・協働的に学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 卒業後の進路に向けて、自己理解しようとしている。 (思・判・表) iPadなど情報機器を活用することで、プレゼンテーション方法を高めコミュニケーション力を発揮するようにしている。 (思・判・表) 進路学習や就業体験に、主体的・協働的に取り組もうとしている。	④やりぬく力(課題対応能力) 【礼儀】 ・仕事について ●ふり返る力(自己理解、自己管理能力) ・キャリアパスポート(自己理解のまとめ) ・1年間の学習を振り返る。	④「やりぬく力」 ・卒業目前、進学や就労先の調整を行う。 ●「ふり返る力」 ・1年間の自己の変化と成長について確認する。 ・学習活動をふり返り、自己の目標進路を決め、課題解決していく方法を見いだす。	
留意点 引継ぎ等						